

## I. 研修について

当科では、急性白血病、慢性白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、骨髄腫、再生不良性貧血などを中心とした血液全般を診療の対象としている。

特に白血病においては、単独の施設としては日本でトップクラスの症例数を有しており、永年の治療成績を基本にして独自の治療を展開している。最近5年間は、米国血液学会(ASH)・ヨーロッパ移植学会(EBMT)で、毎年治療成績を発表している。ほとんどの治療が長期にわたり、患者および家族にとっては精神的に大きな負担がかかるため、その負担を軽減すべく、患者および家族に対して積極的な接触を試み、懇切丁寧に治療内容などについて説明を行っている。また、血液疾患の治療には他の診療科からの協力が必要不可欠であり、各専門のスタッフと連携を取りながら効果的な治療を提供している

研修医は、血液疾患について適切に対応するために必要な知識・技能・態度を習得する。具体的には、基本的な診断、骨髄穿刺・血液検査等の検査、化学療法・移植治療・感染症管理・無菌室管理等などを、指導医の指導のもとで研修する。

## II. 研修の到達目標

全ての臨床医師にとって必須な血液疾患の基本的な理解、正確な診断、適切な検査の指示と治療の実際を研修する。

血液疾患を理解するための知識、適正な診断を行うために必要な専門的検査及び手技を理解修得する。各種血液疾患に対して理解を深め、医療記録に必要事項を正確に記載できる能力を身につける。

## III. 医師数[うち臨床研修指導医数] (平成 29 年 3 月現在)

・常勤医師 9 名 [4 名]

## IV. 学会認定医・専門医・指導医 (平成 29 年 3 月現在)

日本血液学会血液専門医(4 名)

## V. 施設認定

日本内科学会認定医制度教育病院

日本血液学会認定血液研修施設